

陸の宝島・岸良活性化協議会が新商品をお披露目

9月6日、町コミュニティセンターにて、陸の宝島・岸良活性化協議会の商品開発により辺塚だいだいを使用した新たな商品が4点お披露目となりました。辺塚だいだいは岸



良地域で「でで」とも呼ばれています。ソーダや水等で割って美味しくいただける「辺塚だいだいシロップ」、手作りの味噌に辺塚だいだいを合わせた「辺塚だいだい味噌」、クラッカーなどに塗って食べられる「辺塚だいだいクリーム」、辺塚だいだい果実を搾ってできた「辺塚だいだいストレート果汁」とどれも魅力ある商品となっています。

新商品完成報告会では、陸の宝島・岸良活性化協議会、永谷博美会長の挨拶の後、一級フードコーディネーターであり商品開発に携わった杉水流直子さんから商品の詳しい説明がありました。その後、関係者全員で試食・試飲会を開き、辺塚だいだいの爽やかな風味が好評で、今後の販路拡大に弾みをつける機会となりました。



肝付町おいしい米づくり研究会設立総会

9月26日、肝付町コミュニティセンターにて、肝付町おいしい米づくり研究会が設立されました。この会は、「売れる米づくり」、「おいしい米づくり」を進めていくために、付加価値を付けたブランド力のある米の発売戦略を意識して、肝付町の米づくりのあり方を議論・実証し、米の食味の向上、農家所得の向上を目指し、肝付町の米づくりの発展に寄与することを目的とし、水稻栽培に取り組む農業者を中心とした会員で設立されました。

設立総会では、会長に就任した坂口利邦さんから「肝付町お米がブランド化され、農家がお米を作る意欲がわくような取り組みをしていきたい」との挨拶がありました。

総会終了後は、食味検討会が行われ「コシヒカリ、イクヒカリ、なつほのか」の生産者と品種の異なる米を食べ比べ、関係者で、米の色、香り、味などを吟味し意見交換を行いました。

ロケットスタンプ会が学校と社会福祉協議会に寄付

ロケットスタンプ会は、昭和49年7月に「内之浦サービス店会」として設立され、名称を「内之浦町スタンプ会」、「ロケットスタンプ会」と変更しながら、平成30年3月まで内之浦の商工会を支えてきました。

今回は、解散を機にこれまでお世話になった地域に恩返しをしようと、9月20日に最後の会長である佐伯和久さんが役場を訪れて、内之浦小学校・中学校、岸良小学校・中学校、肝付町社会福祉協議会へ寄付されました。

